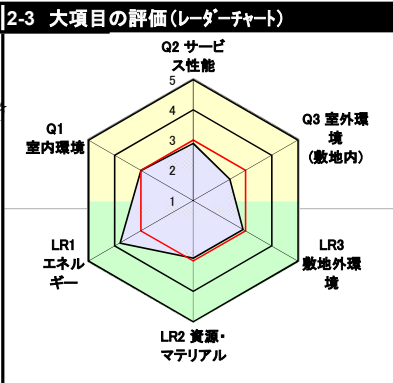
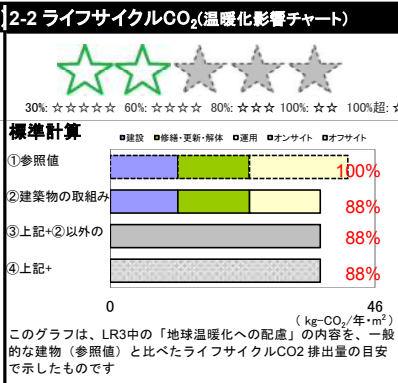
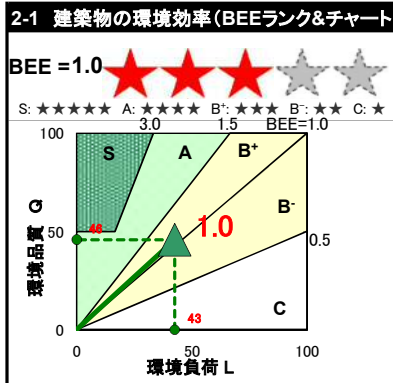
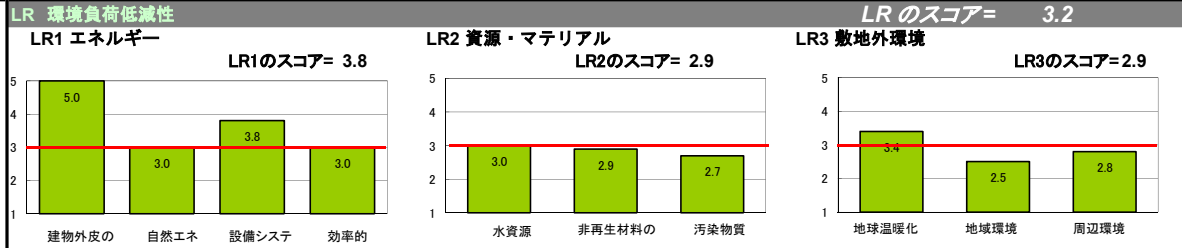
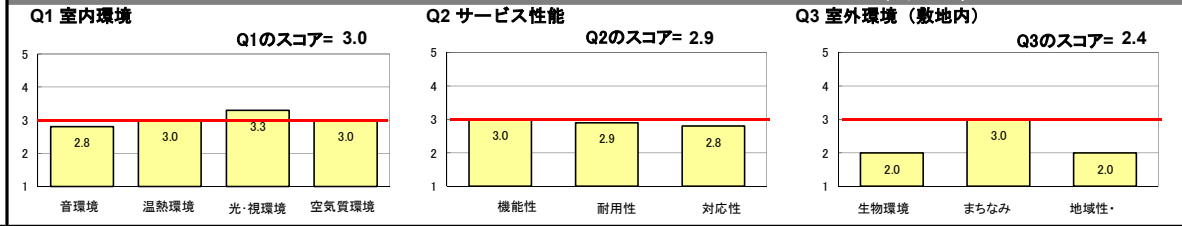


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	常滑東小学校軽量鉄骨仮設校舎等	階数	地下0階地上2階
建設地	愛知県常滑市瀬木町4丁目100番地	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	574 人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,608 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年7月9日
敷地面積	5,612 m ²	作成者	小坂井 勇治
建築面積	1,147 m ²	確認日	2017年7月9日
延床面積	2,135 m ²	確認者	小坂井勇治



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



3 重点項目

①地球温暖化への配慮	3.4	③敷地内の緑化	2.0
②資源の有効活用	2.8	④地域材の活用	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

外観緑化指数(外構緑化面積/外構面積) 0.0 %
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %

<外装材に使用した地域性のある材料>
なし
<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>
なし



3 対応性・更新性				2.8	0.29		-	2.8
3.1 空間のゆとり				2.6	0.31		-	
1 階高のゆとり				3.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ				2.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38		-	
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17		-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11		-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22		-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	2.4
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温暖環境の向上				2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性								3.2
LR1 エネルギー								3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.56	5.0	0.30		-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI _m =0.72	3.8	0.30		-	3.8
4 効率的運用				3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-	-		-	
4.1 モニタリング				-	-		-	
4.2 運用管理体制				-	-		-	
LR2 資源・マテリアル								2.9
1 水資源保護				3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.63		-	2.9
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			既設校舎の継続使用	5.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		独自		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.7	0.22		-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.6	0.68		-	
1 消火剤				2.0	0.33		-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33		-	
3 冷媒				3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境								2.9
1 地球温暖化への配慮		①	積極的な省エネルギー対策	3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-	
2.2 温暖環境悪化の改善				2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		独自	駐車場、駐輪場の設置	4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				2.8	0.33		-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1 騒音		独自		3.0	1.00		-	
2 振動		独自		-	-		-	
3 悪臭				-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1 風害の抑制				3.0	0.60		-	
2 砂塵の抑制				3.0	0.20		-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.20		-	
3.3 光害の抑制				2.3	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				2.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

常滑東小学校軽量鉄骨仮設校舎等賃貸借

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
② 資源の有効活用				2.8
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.8	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 常滑東小学校軽量鉄骨仮

計画上の配慮事項	
総合	既設グラウンドの利用にできるだけ支障がないように配置している。屋根付の渡り廊下で 既設校舎と接続し利便性に配慮している。
Q1 室内環境	どの教室にも十分な自然採光が取れるようなプランにしている。空調、換気、衛生面を考慮して適切な設備設計を行った。
Q2 サービス性能	バリアフリーを考慮し、多目的トイレを設けるなど機能性の高い器具の設置に努めた。
Q3 室外環境(敷地内)	できるだけ既存施設や緑地を残す事に配慮して計画した
LR1 エネルギー	外壁、天井等に断熱材を密に設置し 一次エネルギーの使用をできるだけ軽減できるように配慮した
LR2 資源・マテリアル	環境汚染に影響のある資材はできるだけ避け、廃棄物等の軽減を図った。
LR3 敷地外環境	敷地内に適切な駐車場、駐輪場を確保し 近隣の住環境への影響を、軽減した。
その他	